

怪我乗り越えプロの世界へ翔ける

カニスポ

関大が誇る最強エース

野球

ロッテ 1位

指名を受け、笑顔を見せる（撮影・水井陽菜）切り込み写真は、（左）胴上げされる（右）力強く投げ込む

よねざわ ゆうと
米沢 友翔
2004年（平16）6月1日生まれ、金沢高出身。180^{cm}、80^{kg}。イチオシの部員は中原海晴（商4）。好きな食べ物はハンバーグ。

関大スポーツ号外
「米沢 ロッテ1位」
令和8年10月22日（木）発行
発行人 櫻田真宙
編集人 市場薫
後援 スポーツ振興グループ

夢の舞台へ

13年ぶりに全球団1位指名の公言が無いまま始まった、今年度のドラフト会議。指名の行方が見通せず、張り詰めた空気の中「米沢友翔」のアナウンスが。千葉ロッテマリーンズが1位指名で交渉権を獲得し、安心した表情を見せた。

金丸夢斗（現・中日ドラゴンズ 24年度卒）の背番号「21」を3年時から受け継いだ米沢。度重なるけがに悩まされたが、悔しさを乗り越えてたどり着いたラストイヤーでその名を轟かせた。聖地・甲子園で行われた春の関関戦では、13奪三振の完封勝利を収める。その後もシーズンを通して投げ抜き、31年ぶりの春季リーグ優勝に大きく貢献。また、全日本ではアクシデントがありながらも、自ら志願しマウンドに立ち続ける。日本一への道を切り拓いた。「自分の持ち味を最大限発揮し、地元の皆さんにも勝利を届けたい」。力強いストリート武器に、トップレベルの打者に挑む。世代屈指の左腕が、プロの世界で新たな物語を描き始めた。【宮寧彩】

◇2026年プロ野球ドラフト会議 Supported by リポビタンD ◇10月22日 KANSAL